

<最終目標> **グローバル社会に生きる英会話力と最難関大学入試突破の英語力育成**

<p>1.今年度の達成目標</p>	<p>英検準1級合格 GTEC (750~1000) 進研模試 (68~73) 語彙力 (6,000~7,000)</p>	<p>担当教師,</p>
<p>2.英語科の指導戦略</p> <p><授業の指導戦略></p> <p>(1) 魅力ある学習指導の展開 (2) 2教師による個別指導の徹底 (3) iPadを利用した多彩な授業展開 (4) Interactive活動による表現力の育成</p> <p><授業外の指導戦略></p> <p>(1) 英会話講座の計画的実施 (2) 英検対策早朝講習の実施 (3) 英検やGTECへの集中講座 (4) 予習復習ノートの徹底</p> <p><関連行事への参加></p> <p>(1) ユネスコ活動への参加・ (2) 対外的活動への積極的参加 (3) 校内教科行事の実施・・</p> <p><各種実力試験の実施></p> <p>(1) 英語検定試験・・・・・ (2) GTEC・・・・・ (3) 進研模試、河合模試・・</p>	<p>大学受験に向けて実践的な内容の授業を展開します。 生徒の学習意欲を高め、“生徒が意欲的に取り組む”授業を展開します。 担当教師による個別指導を徹底し、大学入試の合格力を身に着けさせます。 iPadによる英会話・英作文・読解を行い、高度な英語力を身につけます。 Information Gap Game, Interview Game, Daily Conversationを行い、表現力を高めます。</p> <p>週2回「能力別英会話講座」を実施し、英会話力や表現力を育成します。 週3回早朝「英検ドリル」を計画的に実施し、上位級の取得を目指します。 英検対策講座・GTEC対策講座を行い、万全を尽くします。 家庭学習を継続的に実施し、学習に対する主体性を育てます。</p> <p>ユネスコ活動を計画的に行い、国際的感覚や英会話力を育てます。 公開講座・文化祭・本校説明会等で多彩な英語活動を行い、表現力を養います。 管内スピーチコンテストの参加や英単語グランプリを実施します。</p> <p>年2回（6月、10月）を受験します。 年2回(7月、10月)を受験します。 年2回受験し、英語力を判定します。 年5回程度受験し、英語力を判定します。</p>	
<p>3. 指導教科書</p>	<p>Provision English Communication Ⅲ ・ SKYWARD CLOUDS Course 最新入試英語長文 20選</p>	
<p>4. 補助教材</p>	<p>速読英単語 (Z会)</p>	
<p>5. 評価・評定の方法</p>	<p>* 「CommunicationⅢ」と「英語演習Ⅲ」を評価します。 * 成績は、定期テスト・平常の取組を総合して評価します。</p>	
<p>6. 成績の付け方</p>	<p>(1) 日頃の観察や面接試験で「15点/15%」を換算します。 (2) 定期考査「観点別のテスト」で「85点満点/85%」を換算します。 * コミュニケーションへの意欲・関心・・・・・10点 * 外国語表現力（話す・書く力）・・・・・25点 * 外国語理解力（読み・聞く力）・・・・・25点 * 文化・言語についての知識・理解・・・・・25点</p>	

《生徒諸君へ》

- (1) 「家庭学習」・・宿題、予習、復習を必ず行い、課題を毎日提出してください。
- (2) 「持ち物」・・教科書、ノート、単熟語、辞書（電子辞書）を毎日持参してください。

達成目標		《教科書、教材》	
<p>「英検」(準1級)合格を目指し、様々な分野の問題について理解し、積極的に意見を述べるができる。 6年間の英語学習の総まとめとして、4技能をバランスよく学習し、総合的な力をつける。 「GTEC」(900以上)長い英文を聞き・読み、その概要や要点を把握する長文の学習に関しては、パラグラフの構造に着目した読み方と書き方を学習する。</p>		<p>PRO-VISIONⅢ (桐原書店) SKYWARD CLOUDS Course 最新入試英語長文 20選 (桐原書店) 英文法 Engage いいずな書店 速読英単語(Z会) (L: Listening S: Speaking R: Reading W: Writing)</p>	
月	行事(目標)	コ英Ⅲ・英語演習Ⅲ(6時間)	月別達成目標 (Can DO)
4	スタディサポート	<p>Lesson1 Speak Out for the Future 「Severn Suzuki さんの地球サミットでの環境保護を訴えるスピーチ」 Lesson2 The Art of Choosing 「人生における選択とは何か。何をどのように選択すべきか」</p>	<p>L: Listen & React (対話を聴き取る) S: Get the picture に口頭で答える R: パラグラフの構成と比較対照に留意して読む W: パラグラフ Writing を学び、実際に書いてみる 環境問題と人生における決断について考える</p>
5	中間考査	<p>Lesson3 Running Out of Water 「水不足の現状をどのように乗り越えていくべきか」 Lesson4 Ansel Adams :Celebrating America's Wilderness 「写真家アンセル・アダムス 作品を通して何を伝えようとしたか」</p>	<p>L: Listen & React (対話を聴き取る) S: Get the picture に口頭で答える R: パラグラフ展開 (問題・解決・原因・結果) W: Summary Chart と Task B を完成する 水問題・写真家アダムスの生き方を考える</p>
6	英検	<p>Lesson5 Cleaning Up the Trash in Space 「深刻な問題となっている宇宙空間のゴミについて」 Lesson6 Glove Boy 「コミュニケーションを可能にする手袋を発明した少年」</p>	<p>L: Space debris に関する英文を聴き取る S: Get the picture に口頭で答える R: パラグラフ展開と時間の流れに留意した読解 W: Summary Chart と Task B を完成する 宇宙ゴミと好きなことに熱中する生き方を考える</p>
7	期末考査	<p>Lesson7 How language Shapes Thought 「言語と思考の複雑な関係性について」 Lesson8 Hayashi Eitetsu: The man who Raised Drumming to an Art Form 日本の太鼓の新たな音楽ジャンルを確立した林英哲氏</p>	<p>L: 言語学の講義に関する聴き取る S: Get the picture に口頭で答える R: パラグラフ展開と時間の流れに留意した読解 W: Summary Chart と Task B を完成する 宇宙ゴミ問題・好きな事に熱中する生き方を考える</p>
8	夏季講習	<p>《共通テスト及び GMARCH 以上入試対策講座》 長文読解に必要な語彙力の強化 (速読英単語) 長文読解に必要な文法力の強化 (Engage)</p>	<p>LSRW の 4 技能をバランスよくレベルアップすることを狙いとし、長文読解と速聴練習を行う。 また、共通テスト対策問題を解き、傾向と対策を行う。また、GMARCH 以上の大学合格に必要な語彙力及び構文力の強化を図る。</p>
9	校内実力テスト Speech Contest	<p>Skyward Clouds Course Unit 1 ~ 5 ＜P6 ~22＞ (U1)資料の読み取り (U2)大衆文化 (U3) インタビュー (U4)コミュニケーション (U5) 自然環境</p>	<p>名詞構文/関係代名詞 which/分詞構文/不定詞 (結果) /SVOO 受動態 / with (付帯状況/such a(an)~/help 動詞原形/nothing 比較級 than~/現在完了進行形/ASV/by~ing/keep O from ~ing/ as if 仮定法/ inform O that~/ spend o ~ing/関係代名詞 what/ see A as B/倍数の表現/仮定法過去/ so ~that./ 接続詞 where/ so thatS will V</p>
10	中間考査 I 英検(2準1級)	<p>Skyward Clouds Course Unit 6 ~ 10 ＜P26 ~ 42＞ (U6) 社会生活 (U7) エネルギー (U8) 娯楽 (U9) 比較文化 (U10) エッセイ</p>	<p>that(Cの働き)/不定詞 (Cの働き) 仮定法現在/ with (手段) /get C/ ~番目に / would (控えめ) /as ~ as any other/ 接続詞 once 比較の問題/ all (~だけ)/the way that SV/ admire A for B/ (just) as (like) SV/ while SV/ 間接疑問/ 強調の do/ 比較対象の省略/ without so much as~/ one (名詞の繰り返しをさける) / 節の中に節を含む構造/ have O 過去分詞</p>
11		<p>Skyward Clouds Course Unit 11 ~ 15 ＜P46 ~ 62＞ (U11) 日常生活 (U12) 言語 (U13) 環境論 (U14) ノンフィクション (U15) 日本文化</p>	<p>Of で始まる同格句/ leave・keepOC/ alone~/だけ/ not 動名詞/ wish 仮定法 / SVC の動詞/ 比較級強調の even / 疑問詞 to do/ 名詞修飾の現在分詞/ S is believed to be~/ have trouble ~ing/ no A but B/ owe B to A/ It is 形容詞 that~/ 前置詞・疑問詞節/ as ~ as(程度の強調)It is 過去分詞 that~/ 完了不定詞/ not only A but (also) B/ It is not until ~ that/ have no choice but to do.</p>
12	期末考査	<p>Skyward Clouds Course Unit 16 ~ 20 ＜P66 ~ 82＞ (U16) 健康・医学 (U17) 教育 (U18) 政治 (U19) 産業 (U20) 科学技術 共通テスト試験直前対策 予想問題の実施・弱点部分の補強</p>	<p>強調構文と not A But B の組み合わせ/ the 比較級~, the 比較級.../that's not the case/ ~, most of which.../ whether to do/ 繰り返しを避ける those/ no 比較級/ 前置詞・関係代名詞/ as(~するとおり) 最上級に続く<of>の前置/ 接続詞に続く(S be 動詞)の省略/ 進行形の受動態/ 分詞構文の being の省略/ as many as~/ 部分否定/ what の特殊用法/ too 形容詞 a(an) 名詞/ the next time SV/ happen to do/ 動名詞の意味上の主語/ 関係副詞 where/ make sure that SV/ 名詞を修飾する過去分詞</p>

【教科名】 外国語 【科目名】 英語演習Ⅲ

1. 履修学年・単位数	3年・2単位	2. 選択等の種別	選択科目（一貫部普通コース）
3. 使用教材	(1) SKYWARD CLOUDS Course 最新入試英語長文 20 選（桐原書店） (2) 英文法・語法 Engage（いっずな書店）		
4. 科目の特色	幅広い話題についてより深く理解し、情報や考えなどを英語で伝える能力を伸ばすとともに積極的に意志疎通をはかろうとする態度を身につけます。また、共通テスト試験対策・GMARCH レベル以上のレベルも視野に入れた総合的な英語力の養成を図ります。		
5. 学習の目標	英文法を体系的に理解し、大学入試問題に耐えうる知識を得るため、既習項目の総復習および入試必須分野の知識を基礎から学び、演習問題を通して実践力を養成し、大学等、上級学校への進路に対応できる力を身につけることを目標とします。		
6. 授業の内容と進め方	(1) 各課の学習目標（文法項目）に関する演習問題を解きます。（Engage） 語彙小テストを行い、語彙を増やします。（速読英単語（Z会）） (2) Paragraph Reading の手法を学ばせ、読解力をつけます。（Skyward）		
7. 学習の留意点	授業内容を理解するために、予習を十分に行って授業に望むことが大切です。各課の内容を理解することは勿論、使われている構文・語彙等を把握すると共に、各設問を解いておくことが必要です。SKYWARD 予習・復習ノートを活用して、家庭学習において語彙・文法・構文等の整理を行い、生徒の英文読解力の基礎・応用力を培います。		
8. 評価の観点	(1) 知識・理解 ・文法項目、語句、慣用句、表現方法などを理解し、使用できるかどうかを評価します。 ・文法項目、語句、慣用句、表現方法などを理解し、解答できるかどうかを評価します。 (2) 書く能力 ・読んだ内容について、その概要や要点を理解して記述できるかどうかを評価します。 ・読んだ内容について、自分の考えを整理して書けるかどうかを評価します。 ・書こうとする内容を整理して、大事なことを落とさないように書けるかどうかを評価します。 (3) 態度・意欲・関心 ・自らの意見や考えをもち、それを的確に文章にできるかどうかを評価します。 ・文法学習に関心を持ち、目的や場に応じた適切な表現を学ぼうとしているかを評価します。		
9. 評価の方法	(1) 定期考査の成績で評価します。 (2) 授業中に出された課題等の提出物の状況や内容で評価します。 (3) 授業への出席状況で評価します。 (4) 授業への積極的態（アクティブラーニングを通して評価します） (5) 校外模試の結果も参考にします。		
10. 今年度の目標と対策	共通テストレベル又はそれ以上のレベルの大学入試問題（GMARCH 以上）に十分対応できるだけの語彙・文法知識・読解力・聴解力・英作文力・発話力等を身につけさせることを目標とします。4 技能をバランスよく習得させるために、第二言語習得研究に基づいた最新の英語指導を実践します。高校生となれば、口頭による様々な活動を避ける傾向があるが、テキストの音読、要約、又は生徒自身の感想や意見等を英語で発表できるような指導を行います。		

